

# 接点入出力ユニットDIO-32/32(S)を使用、通信先設定が可能、SIO-1(E2)用

DIO-32/32(S)にマスターのIPアドレスとマスターからの接続先スレーブ32ヶ所までのIPアドレスを設定しておきます。DIO-32/32(S)の入力接点をオンにすると対応するスレーブのIPアドレスの情報がマスターに通知され、マスターはこのIPアドレスでスレーブに接続を開始します。接続中とか話中は接点出力で確認できます。同様に、スレーブ側にもDIO-32/32(S)を設置すれば、そのスレーブがマスターとなり、相手先を選択し、通話できます。全てのスレーブにDIO-32/32(S)を設置し、全てをマスターにすることも可能です。

